
教職教養対策 演習

教育原理 第1回（前半）

【問題1】

次の各文章のうち教育について述べたものとして不適切なものの個数を、1～5の中から一つ選びなさい。

- ア フランスのアヴェロン地区で発見されたヴィクトールと呼ばれた少年は、保護された後も完全な知的発達の回復をみることはできなかった。
- イ アマラとカマラは、インドのベンガル州で養育を放棄されていた状態で発見され、その後の教育によってカマラは多少の単語の習得ができるまでになった。
- ウ 言語獲得には一定の年齢までに習得することが望ましいと考えられており、特に母国語の習得では2～3歳までの環境が重要であるとされている。
- エ 教育による人間性の獲得は多くの研究者から指摘され、中でもカントはその著書『教育学（講義）』において「人間は教育されなければならない唯一の被造物である」とし、教育の必要性について主張した。

- 1 1つ 2 2つ 3 3つ 4 4つ 5 誤りはない

【問題2】

次の各文章は、学習理論・教育方法について説明したものである。適切なものを1～5の中から一つ選びなさい。

- 1 モジュール学習とは、児童生徒を習熟度別にグループ分けし、学習到達度の程度にあわせて、指導する方法である。
- 2 問題解決学習とは、児童生徒の生活体験から興味や関心のある問題を取り上げて、その解決過程で具体的な活動を通して、問題解決の能力を養う教授・学習形態をいう。
- 3 ティームティーチングとは、個別学習法の一つであり、時間割のない自由な環境の中で興味関心に合わせた分野を実験室と呼ばれる個室において学習する方法である。
- 4 完全習得学習とは、児童生徒が行う発見を通して、自らの力で知識や問題解決の方法を習得する学習の方法である。
- 5 プログラム学習とは、細分化した教材内容を不規則的に配列したものを学習させる個別教授法である。

【問題 3】

「学習指導法」とその指導法に関連する「人物」の組合せとして適切なものを、1～5の中から一つ選びなさい。

「学習指導法」	「人物」
A. プログラム学習	ア. オーズベル
B. 発見学習	イ. ブルーナー
C. 完全習得学習	ウ. ブルーム
D. 有意味受容学習	エ. スキナー

- | | | | | |
|---|-------|-------|-------|-------|
| 1 | A - エ | B - ア | C - ウ | D - イ |
| 2 | A - エ | B - イ | C - ア | D - ウ |
| 3 | A - エ | B - イ | C - ウ | D - ア |
| 4 | A - ウ | B - エ | C - ア | D - イ |
| 5 | A - ウ | B - ア | C - エ | D - イ |

【問題 4】

次の各文章のうち教育用語の説明として不適切なものを、1～5の中から一つ選びなさい。

- 1 「バズ学習」は、与えられた課題を協同で短時間、繰り返し話し合う集団討議の一形式でフィリップスが提唱した。
- 2 「発見学習」は、アメリカのブルーナーが提唱した学習指導法である。科学上の発見と同様の思考過程をたどらせ、自分自身の力で、新しい知識を獲得し、問題解決の方法を見つけるもの。
- 3 「一斉指導」は、現在の学校教育の中心的指導方法で、効率よく必要事項を伝達できる長所がある一方、一人一人の興味や関心に対応できない点などの短所もある。
- 4 「プロジェクト・メソッド」は、ハーバード大学のスキナーによって提唱され、学習内容を小さく分け学習目標に到達する個別学習の形態をとる。現在はこの「プロジェクト・メソッド」の手法を活かして企業等が学校のコンピュータ支援教育や家庭における個別学習用のソフトを作成して販売されている。
- 5 「範例学習」は、シュランガーやフリットナーが参加した1951年の「チュービンゲン決議」により提唱され、多数の教材の中から、基本的・本質的なものを厳選して実際の範例を通じて学習し、基礎的な理解を得られるようにする学習形態である。

【問題 5】

次の各文章のうち不適切なものを、1～5の中から一つ選びなさい。

- 1 ソクラテスは、自分は何も知らないということを知っていることが他の人間よりも賢者であるとし、対話により相手の無知を自覚させ、相手が知を生み出す助けをするという方法を実践した。
- 2 ルネサンス期イタリアに生まれたヴィットリーノは、学校「喜びの家」を設立し、体育や遊戯を重視した教育を行った。また才能ある貧家の子弟も受け入れ、勉強は面白いものにすべきという立場に立って、ゲーム形式で授業を行ったことで知られる。
- 3 アメリカの教育学者モリソンが提唱した学習方法は、学習単元を組織し、テスト・評価・指導を繰り返すことで学習の完全習得を図り、学力の向上を狙うものである。
- 4 アメリカの心理学者クロンバックは、個々の適性に応じて指導方法を変える学習方法を提唱し、ある事柄を教える際に手順や教授法・課題内容（処遇）よりも、学習者個々の能力や経験、性格などといった属性（適性）の違いによって、学習効果に違いが生じることを提唱した。
- 5 ナトルブは20世紀初頭のドイツにおいて公民教育の実現を目指して労作教育論を展開した。著書に「公民教育の概論」「労作学校概念」がある。

【問題 6】

次の各文章のうち適切なものを、1～5の中から一つ選びなさい。

- 1 教師が子どもに知識や技能を伝えようとする場合に必要となる教材を活用し、教師・教材・子どもという三肢関係が成立する。この教育作用を「訓育」という。
- 2 教育基本法に示された教育全体の目的と目標に基づき、各学校種ではそれぞれの目的と目標が学校教育法において示され、更に教育内容、各教科の目標と内容の規準が学習指導要領において示されている。なお各学校においては、これらの法規等に示された目的に則り、地域の特性などを考慮し学校独自の教育目標を設定する。
- 3 サーフィンに習熟した人は、そうでない人よりも早く上手にスノーボードができるようになるなど、一つの知識・技能を習得したことにより他の知識・技能を効率的に習得できるようになることを「学習の転換（単に転換ともいう）」という。
- 4 教師の言動や姿勢など様々なものを通して、子どもの精神や意識が意図せず変容することがある。これを実質陶冶といい、普段から意図的な教育だけにとどまらずこうした意図しない子供の変容にも注意しなければならない。
- 5 教育の目的は、子供達の状況や地域の特性にあわせて、各学校で設定され、法律での言及は控えられている。ただし、教育水準の維持を果たすという教育の使命に基づき、教育基本法第2条において義務教育の目標について定めることとした。

【問題 7】

次の A～E の各文章は、参加型学習を進める際の手法について説明したものである。それぞれの手法の名称を I～V から選んだとき組合せとして適切なものを、1～5の中から一つ選びなさい。

- A オズボーンによって考案されたアイデア発想法の一つで、会議などで用いられている。自由なアイデア・発想をうながすため、「あらかじめ批判を排除すること」や「多くの意見を述べる必要があること」、さらに「出されたアイデアの結合と改良が大切である」などのルールが掲げられている。
- B 画像素材の中に表現されている情報をあげていき、参加者同士で気づきや発見を共有していく教育手法である。その素材を活用し、何かしらのストーリー性を想像させ、物語を作成する過程で、資料の読解、分析、論理的な思考などの体験をすることができる。
- C 想定された仮想世界を模擬的につくり出し、その中で活動しながら参加者が勝ち負けを競う活動をさす。仮想的状況を模擬的に体験できることに加え、コミュニケーションが深まり共感的理解が進むほか、勝ち負けを争うことで学習者のモチベーションを高め、楽しみながら学ぶことができる。
- D あるテーマや課題に関連した選択肢を何らかの基準で並べ替えていく。グループ全員で話し合いながら行ったり、個人ワークとして一人で行ったりした後に、再びグループにもどり、その結果を共有し、意見を交換し合う進め方が基本となっている。多様な意見や価値観に触れることで、自分たちを見つめ直す機会となり、思いや考えが整理されることにつながる。
- E あらかじめ設定された場面や状況の中で、ある特定の自分とは異なる人の立場になったつもりで演じ、問題について考える手法である。ある状況を再現し事象を疑似体験することにより、問題の多面性や核心に気付くだけでなく、相手の立場や気持ちの理解・受容・コミュニケーション能力や表現力等を身につけようとするものである。

I ロールプレイング II シミュレーションゲーム III ブレインストーミング
IV フォトランゲージ V ランキング

	A	B	C	D	E
1.	IV	V	I	II	III
2.	III	V	II	I	IV
3.	II	IV	I	III	V
4.	V	I	II	III	IV
5.	III	IV	II	V	I

【問題 8】

次の教育学者について説明した各文章から、正しく説明されているものを二つ選び、その組合せとして適切なものを、1～5の中から一つ選びなさい。

ア ヘルバルトは、スイスの医者の子として生まれ、子どもが労働活動を通して能力が調和的に発達することが人間教育の原理として掲げるなど、近代教育に多くの足跡を残し、「人類の教育者」とも呼ばれている。

イ ルソーは、「人間は教育されなければならない唯一の被造物である」や「人間は教育によってはじめて人間となることができる」など命題を述べ、人間における教育の必要性和可能性を提唱した。

ウ プラトンは、古代ギリシアの哲学者であり、中世スコラ学に影響を与えた。人間の行いや営みにはその全てに目的があり、それらの最上位にそれ自身が目的とするところの「最高の善」があるとした。

エ デューイは、教育を「経験を絶え間なく再組織し改造すること」と定義し、従来の教科書などの教材を中心として教師によって展開する教育の在り方を批判した。主著に「思考の方法」がある。

オ コメニウスは、著書の中で学校の全面的な改革原理を提案し、教育学そのものの体系を考案したことから「近代教育学の父」と呼ばれた。

1 ア・イ 2 ア・ウ 3 イ・オ 4 ウ・オ 5 エ・オ

【問題 9】

教育方法（学習方法）に関する説明として適切なものを、1～5の中から一つ選びなさい。

1 完全習得学習

ランカスターが提唱し、教育目標を適切に分類して適切な評価方法を用いることで、全ての子どもに対する学力保証を実現しようとする授業論のことである。適正を一定学習時間での到達度と考えるのではなく、一定の到達度に達するための学習速度と考える。

2 生活単元学習

シュタイナーの経験主義学習理論に基づいた、個人の日常生活上の問題解決に重きが置かれ、日本では第二次大戦後すぐに主張された学習形式である。

3 有意味受容学習

有意味受容学習は、オーズベルが提唱したもので、機械的な暗記を強いる学習法ではなく、学習する内容に意味を持たせ、子どもに考えさせたり推理させたりするなどの過程を重視する学習である。

4 シミュレーション学習

20世紀前半アメリカのキルパトリックがデューイの経験主義教育理論を具体化した方法。学習の最初に目的を設定し、実行計画を立てて実施し、最後に評価をするという4つの段階を踏ませる。学習者は生活の中から課題を見出し、自主的に解決する学習方法である。

5 探求学習

ブルーナーを中心とするグループが提唱した学習論で、学習者が科学的探求の過程に主体的に参加することを通じて、その教科の背景となる学問の基本的概念とその探求の方法を獲得し、科学的思考の形成を目指した教授・学習の方法である。

【問題10】

次のア～オの各文章が説明している学習法や教育方法を a～l から選んだとき適切な組合せを、1～5の中から一つ選びなさい。

- ア ペーターゼンによって提唱された教育手法で、従来よくみられた年齢別学級を廃止し、異なる年齢の子ども達のなかでの教え合い活動を基本とする学習形体を示した。一人の子どもが教える側と教えられる側の両方を体験できる点が特徴となっている。
- イ 形成的評価の重要性を活用して、学級の95%の児童生徒が学習内容の完全な習得を目指す学習のことで、ブルームらによって提唱された。
- ウ アメリカのイリノイ州で実践された学級を解体した個別学習の一形態で、共通基礎教科は個人別の練習帳や自己診断テストなどを利用して自分自身の速度で学習する。
- エ 子どもたちが自分の身近な例を手がかりに、追求対象の世界と追求する自己の世界を解明するという、ドイツで提唱された教材精選と教授法の理論である。日本では、三枝孝弘や井上弘等によって紹介され実践された。
- オ パーカストが提言し、アメリカのハイスクールで行われた。子ども一人一人の能力を伸ばす個性尊重を原理とする授業改善方式。時間割や画一的な一斉授業を廃止し、自由の原理と協同の原理を基本として、子どもたちの自学の個別学習を保証する。日本でも多くの学校で実践された。

- | | | | | | |
|---|----------|---|-------------|---|-------------|
| a | モリソン・プラン | b | マスタリー・ラーニング | c | プロジェクト・メソッド |
| d | 有意味受容学習 | e | イエナ・プラン | f | 範例学習 |
| g | バズ学習 | h | プログラム学習 | i | ドルトン・プラン |
| j | ジグゾー方式 | k | 問題解決学習 | l | ウィネットカ・プラン |

- | | ア | イ | ウ | エ | オ |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | c | f | a | h | k |
| 2 | e | d | l | h | g |
| 3 | c | f | a | b | k |
| 4 | e | b | l | f | i |
| 5 | e | d | l | h | j |

-----前半ここまで-----